

『近畿地方のある場所について』

背筋著 KADOKAWA 2023年発行

今井 亮輔

角井 真乃



【角井】 年組の主任と探検部主任、そして国語科主任を兼任しています。今井と申します。自分でも少し茶な書だとはしていますが、有り余るエネルギーで日々読まないと向き合っています。パワフルな今井です。どうぞお話しを聞いてほしいです。

【角井】 自分からパワフルと笑。素晴らしいです。それは最初の質問を返していただいて、今井先生は、なぜ教職の道を選ばれたのでしょうか。

【角井】 いまはやはり核心を突く、難しい質問ですね。そう、そう。一言で表現するのは、世の中に良い影響を与えたいという思いが善か悪か、心の根柢にある。ただ、一個人が社会や世に直接的影響を与えることは、途方もなく難しいこと。考え方はなかなかならぬ。でも自分、の性は合わない。でも、どうも自分の理想を実現しているか、自分という領域にだけ責任を負った。自分一人の力は小さくても、自分の意思や教育理想を受け継いだ若者が、若者社会の様々な分野で活躍している。それは間接的ではあっても、よい影響を与えている。自分自身は、自分自身でよい影響を与えている。自分自身でよい影響を与えている。自分自身でよい影響を与えている。

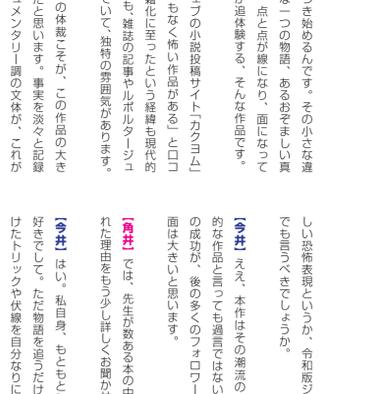
【角井】 なるほど、直接的ではなく、次世代を育てることで間接的に社会に影響を与えている。数ある学校の中から、この大阪国際学園で教育を執る理由として、日々読まないと向き合っています。パワフルな今井です。どうぞお話しを聞いてほしいです。

【角井】 なるほど、直接的ではなく、次世代を育てることで間接的に社会に影響を与えている。数ある学校の中から、この大阪国際学園で教育を執る理由として、日々読まないと向き合っています。パワフルな今井です。どうぞお話しを聞いてほしいです。

【角井】 それは明確に、この学園で活躍している「全人教育」という理念に深く感銘を受けたからですね。それは、この卒業生にはないの？ 私の母校で繰り返し教わられてきたのは、知識をそれを使って、その土壌に育つという経験も現代の若い世代にも必要なのではないかと感じています。

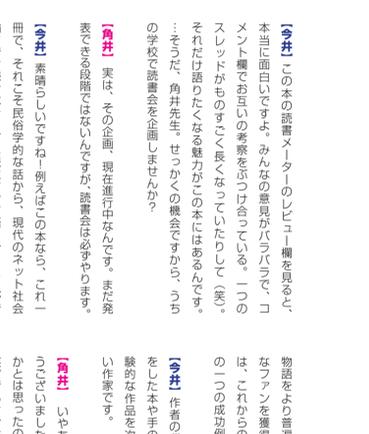
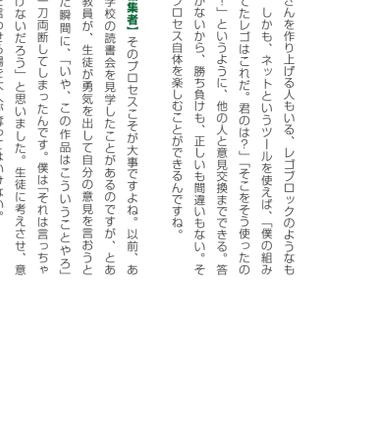
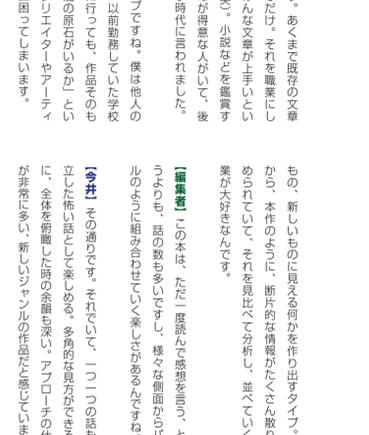
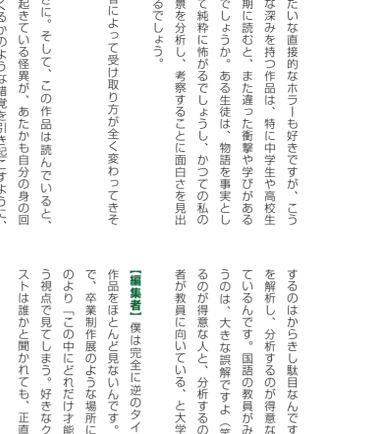
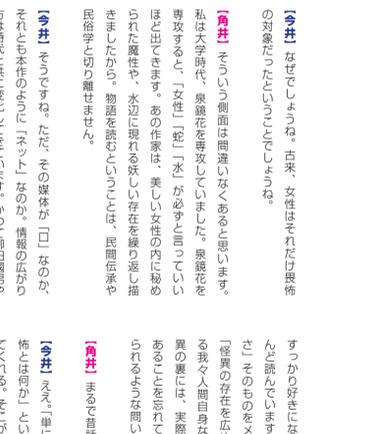
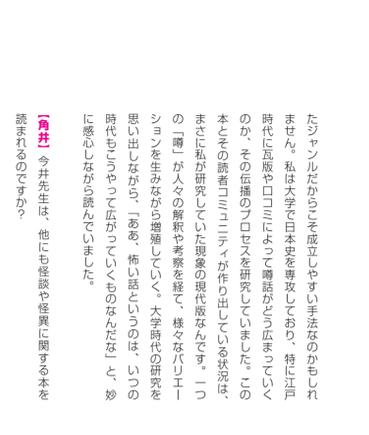
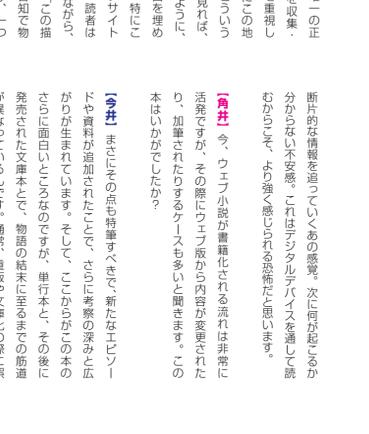
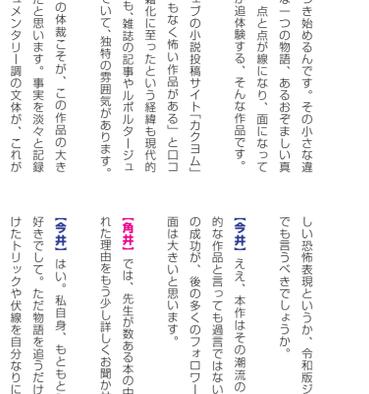
【角井】 それは明確に、この学園で活躍している「全人教育」という理念に深く感銘を受けたからですね。それは、この卒業生にはないの？ 私の母校で繰り返し教わられてきたのは、知識をそれを使って、その土壌に育つという経験も現代の若い世代にも必要なのではないかと感じています。

【角井】 それは明確に、この学園で活躍している「全人教育」という理念に深く感銘を受けたからですね。それは、この卒業生にはないの？ 私の母校で繰り返し教わられてきたのは、知識をそれを使って、その土壌に育つという経験も現代の若い世代にも必要なのではないかと感じています。



【角井】 なるほど、直接的ではなく、次世代を育てることで間接的に社会に影響を与えている。数ある学校の中から、この大阪国際学園で教育を執る理由として、日々読まないと向き合っています。パワフルな今井です。どうぞお話しを聞いてほしいです。

【角井】 それは明確に、この学園で活躍している「全人教育」という理念に深く感銘を受けたからですね。それは、この卒業生にはないの？ 私の母校で繰り返し教わられてきたのは、知識をそれを使って、その土壌に育つという経験も現代の若い世代にも必要なのではないかと感じています。



楽しみたいだけなんや！

読書が好きな国際生とつながりたい！でもバトロくはない！...そんなあなたにぴったりな、好きな本をオススメしあうだけの会を開きます！読む本を探している人もぜひ聞きに来てください。

2025.12/23 火 13:10 @図書室

本を読む会実行委員会 詳細は司書教諭 角井まで 申し込みはカウンターにて